

株式会社ダイフク

第109回 定時株主総会

2025年3月28日

株 主 各 位

(証券コード 6383)
2025年3月12日
(電子提供措置の開始日 2025年3月6日)

DAIFUKU

株式会社ダイフク

大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号

代表取締役社長 下代 博

第109回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第109回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報(電子提供措置事項)について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイト「第109回定時株主総会招集ご通知」および「第109回定時株主総会その他の電子提供措置事項(交付書面省略事項)」として電子提供措置事項を掲載しています。

● 当社ウェブサイト <https://www.daifuku.com/jp/ir/stock/shareholders/>

電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所(東証)のウェブサイトにも掲載していますので、以下の東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)にアクセスして、銘柄名(ダイフク)または証券コード(6383)を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を選択のうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

● 東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



敬 具

記

① 日 時 2025年3月28日(金曜日) 午前10時(受付開始:午前9時)

開催日が前回定時株主総会日(2024年6月21日)に相当する日と離れているのは、第109期(当事業年度)より当社の事業年度の末日を3月31日から12月31日に変更したためです。

② 場 所 大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号 当社本社内

(末尾の「株主総会招集ご案内」をご参照ください。)

③ 株主総会の
目的事項 報告事項 1. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 計算書類報告の件

決議事項 第1号議案 取締役11名選任の件

第2号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬制度改定の件

なお、当日ご出席されない場合は、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、後述の案内に従って、2025年3月27日(木曜日)午後5時までに議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。なお、当日の様子は、インターネットによるライブ配信でもご覧いただけます(詳細別紙)。

監査役会 監査結果のご報告

常勤監査役 齊藤 司

ご報告事項

第109期 事業報告

連結計算書類

単体計算書類

決算期の変更について

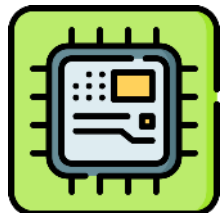
2024年6月21日開催の定時株主総会決議をもって、当社の事業年度は毎年1月1日から12月31日へ変更となりました。決算期変更の経過期間となる第109期は、株式会社ダイフクならびに国内を中心とした従来の3月末決算子会社は2024年4月1日から12月31日までの9カ月間を、海外を中心とした子会社は2024年1月1日から12月31日までの12カ月間を連結対象期間としています。

	2023年				2024年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
国内		第108期（12カ月間）				第109期（9カ月間）		
海外	第108期（12カ月間）				第109期（12カ月間）			

経済・事業環境



日本では、物流2024年問題を背景として物流関連投資が回復基調



半導体産業では中国におけるレガシー半導体投資が高水準で継続し、先端半導体投資が前倒しで回復。半導体後工程における自動化投資も具現化



自動車産業で電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車などの電動車関連投資が高水準で継続



航空旅客数の回復に伴い空港における自動化投資が北米を中心に伸長

連結実績

受注高



アジアにおける半導体生産ライン向けシステムや、北米における空港向けシステムを中心に順調に推移

売上高



豊富な前期末受注残高をベースに全体として計画に対し、順調に推移

利益



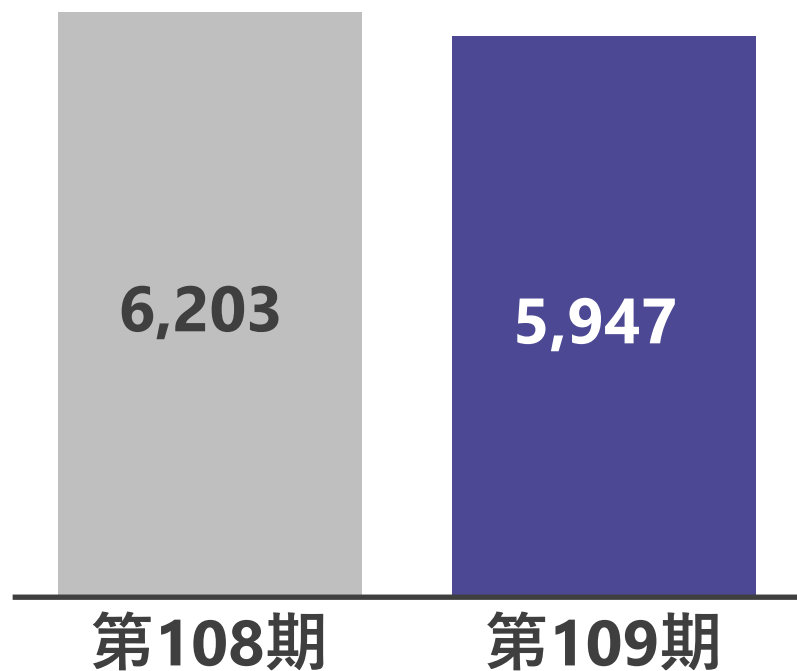
前中期経営計画期間より進めてきた生産の効率化をはじめとする各種コスト削減への取り組みが寄与



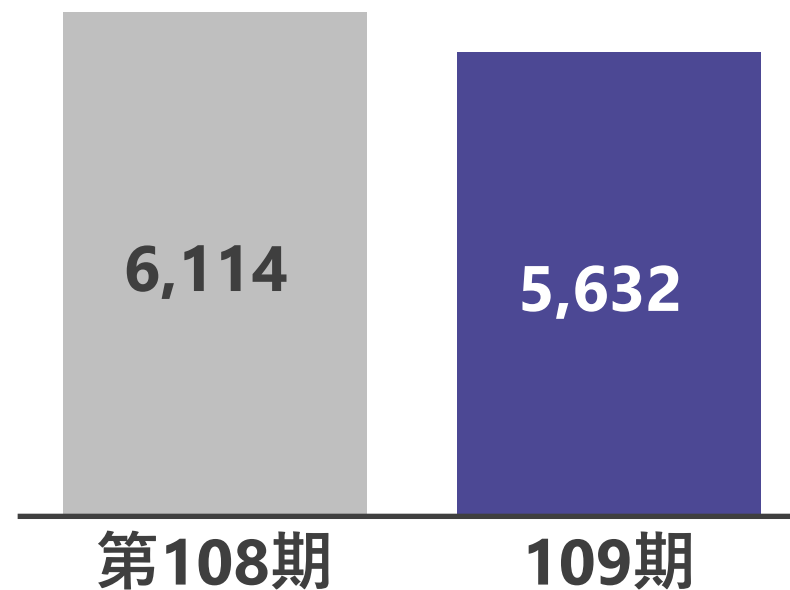
中国におけるレガシー半導体向け売上が増加

連結実績（億円）

受注高

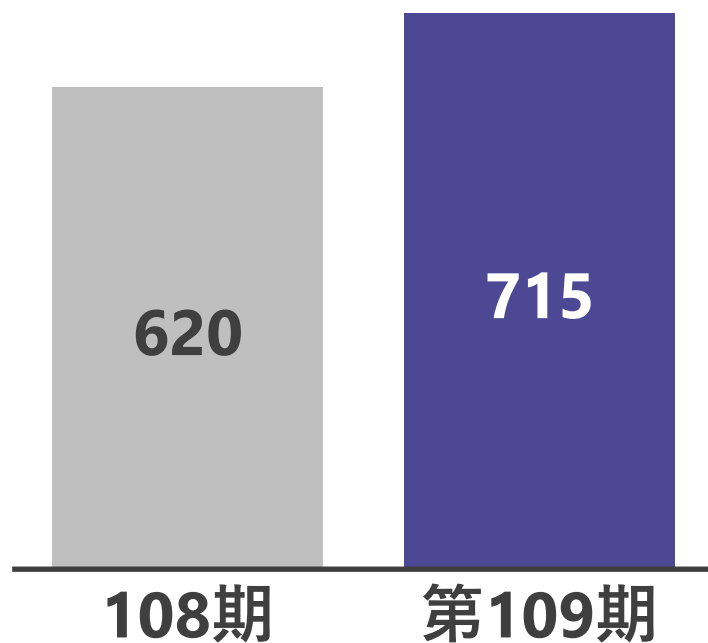


売上高

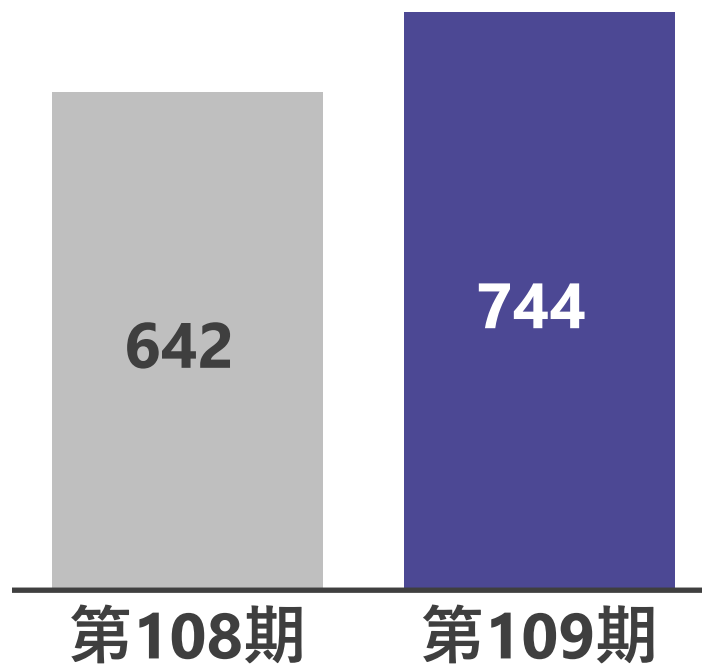


連結実績（億円）

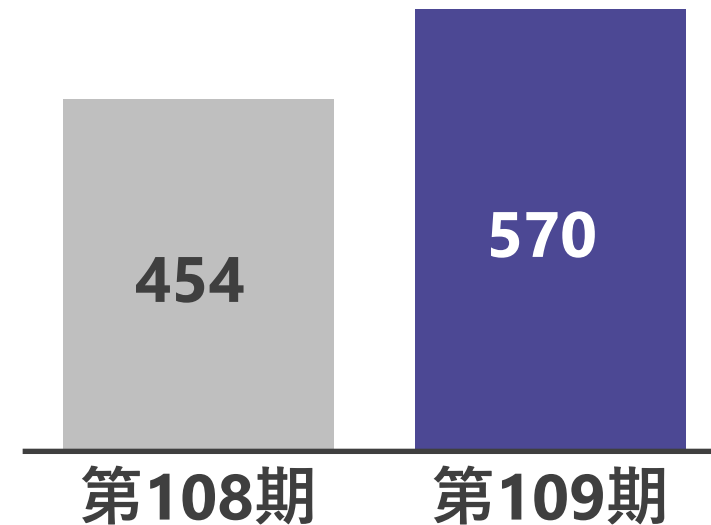
営業利益



経常利益

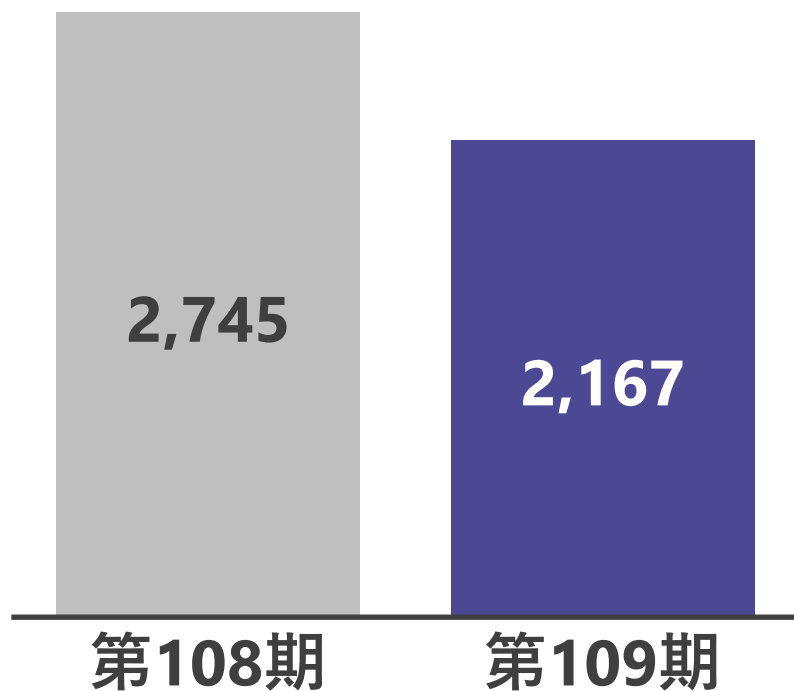


親会社株主に 帰属する当期純利益

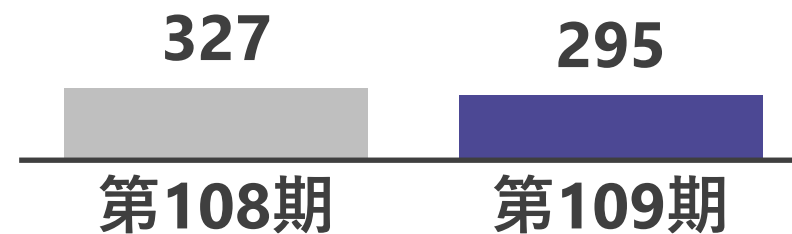


損益計算書（億円）

売上高

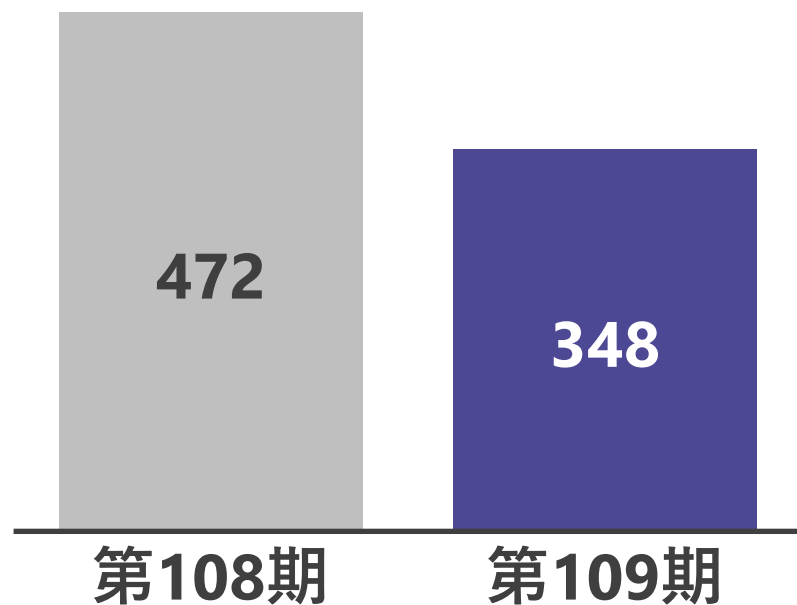


営業利益

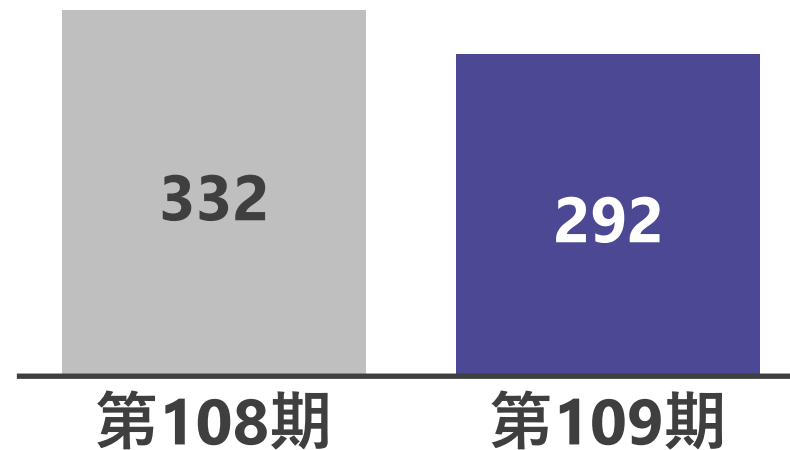


損益計算書（億円）

經常利益



当期純利益



対処すべき課題について

招集ご通知 30～34ページ

社会価値

「モノを動かす」技術で

物流や生産現場などの社会インフラを支えます
食や環境などの新たな領域で社会課題解決へ貢献します

Driving Innovative Impact 2030
2030年におけるありたい姿

2027年中期経営計画

経営目標

連結売上高

8,000億円

営業利益率

11.5%

ROE

13.0%

連結売上高

1兆円

営業利益率

12.5%

ROE

13.0%

売上高CAGR
+7.7%

2023年度

売上高CAGR
(4年間)
+7.0%

2020年度

売上高CAGR
+8.9%

連結売上高
6,114億円

営業利益率
10.2%

ROE
13.2%

連結売上高
4,739億円

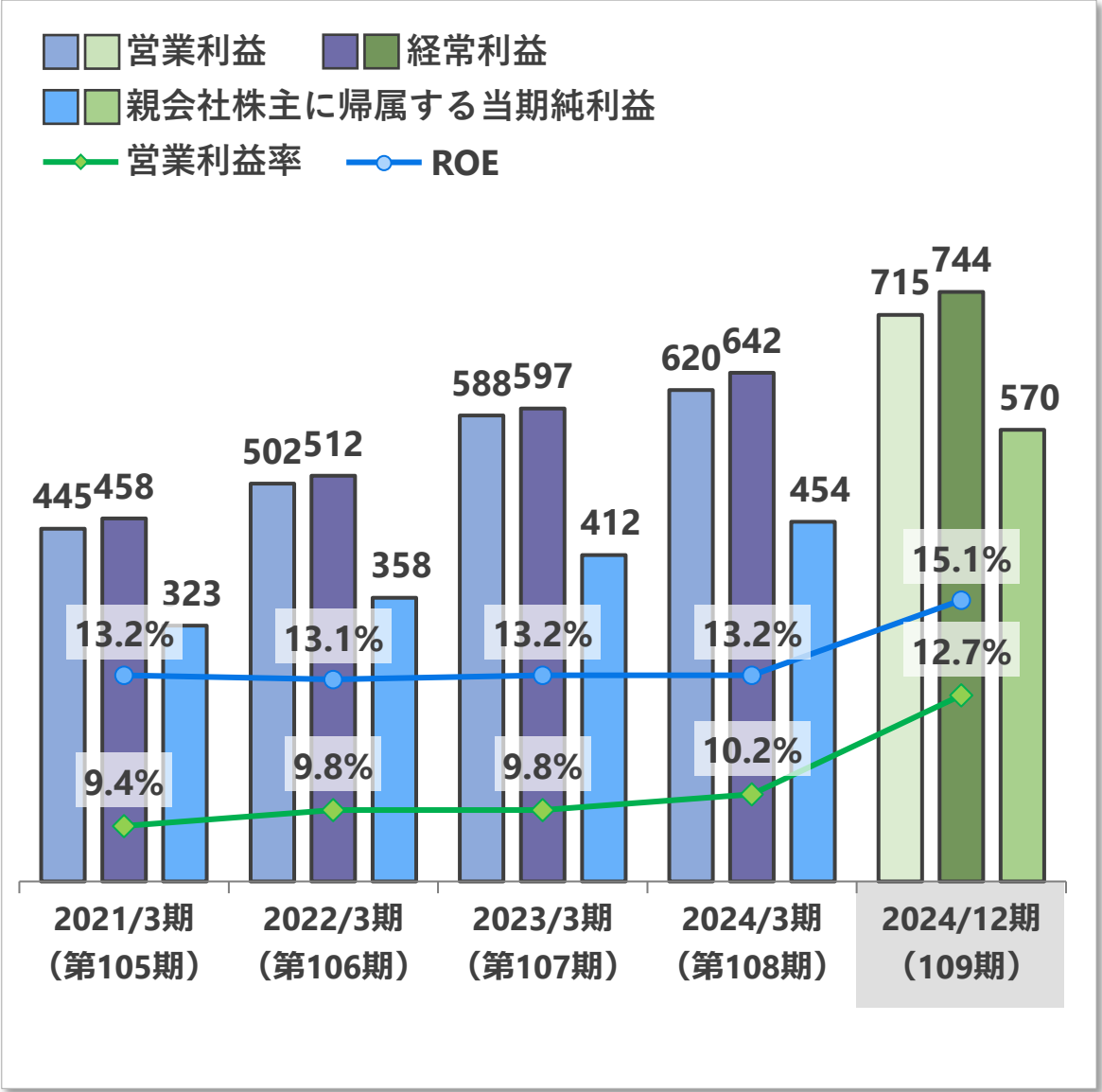
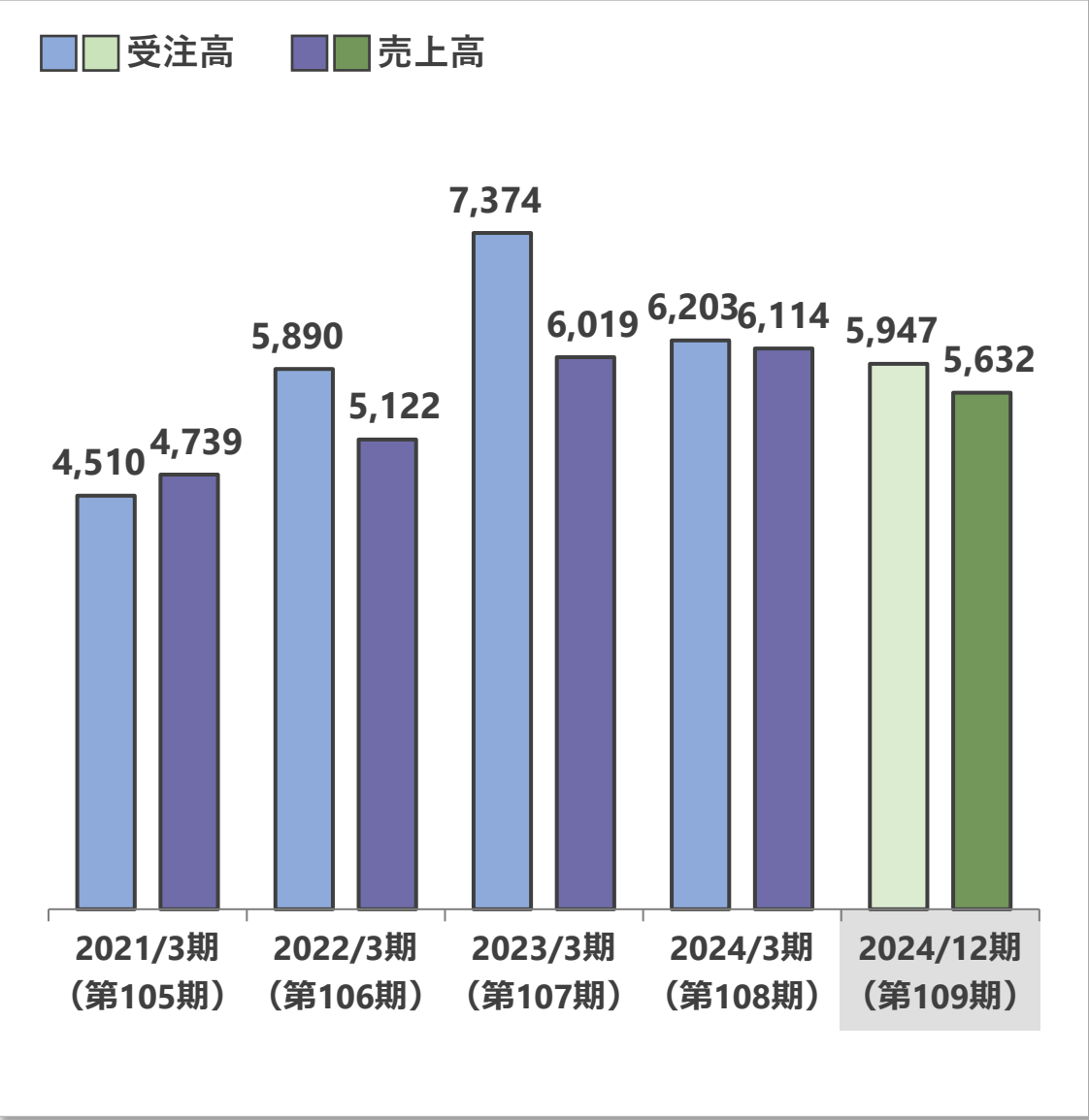
営業利益率
9.4%

ROE
13.2%

経済価値

注：CAGR：Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

業績推移

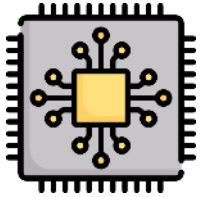


[注] 2024年12月期（第109期）は決算期変更の経過期間であり、国内9カ月間・海外12カ月間の実績値です。

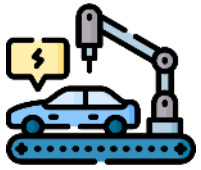
事業環境



日本：人口の減少に伴う労働力不足が深刻化
海外：人件費が急激に上昇



生成AIの普及に伴い半導体需要が飛躍的に増加すると同時に、経済安全保障の観点から各国政府が自国内における生産基盤の確保を促進



電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車などの電動車関連投資が継続



限定的な自動化投資しか行われてこなかった空港においては、慢性的な労働力不足に伴う各種課題が顕在化

生産・物流現場における
自動化や無人化ニーズが
グローバルで拡大

マテリアルハンドリング
を核とする
「モノを動かす」技術への
期待がますます高まる

対処すべき課題



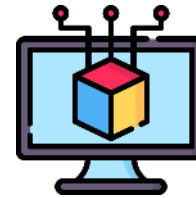
海外プロジェクト管理の高度化
による収益性のさらなる改善



M&Aを含めたグローバル成長
戦略の着実な実行



米国の通商政策への対応



新たに創出する事業領域の
具体化



先端技術を活用した開発の加速



DX、AI人材をはじめとする
人的資本の拡充

コンプライアンス・安全

コンプライアンス

事業活動のあらゆる局面において、法令や会社規程など社内外のルールにとどまらず、社会規範を遵守し、誠実に行動すること



安全

「第一」「第二」と相対的な順位をつけるものではなく、絶対的なもの、「専一」のもの



決議事項

決議事項

第1号議案 取締役11名選任の件

再任候補



下代 博



寺井 友章



佐藤 誠治



田久保 秀明



小澤 義昭



加藤 格



金子 圭子



ギディオン・
フランクリン

新任候補



日比 徹也



吉田 晴行



神崎 夕紀

決議事項

第2号議案 取締役に対する
業績連動型株式報酬
制度改定の件

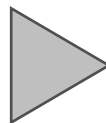
改定前

- (1) 対象期間：4月1日から3月31日
- (2) 総額との関係 []: 金銭報酬枠

基本報酬（固定）

賞与*

非金銭報酬「株式給付信託 (BBT)」*



改定後

- (1) 対象期間：1月1日から12月31日
- (2) 総額との関係 []: 金銭報酬枠

基本報酬（固定）

賞与*

非金銭報酬「株式給付信託 (BBT)」*

* 賞与ならびにBBTは業績連動報酬（変動）

2006年（第90回定時株主総会にて承認）に金銭報酬枠を設定していますが、企業価値向上に向けた中期経営計画の達成、株価の変動が取締役の報酬額に与える影響、取締役の員数の増加、役位変更の可能性に鑑み「株式給付信託 (BBT)」につきまして、金銭報酬枠とは別枠として取り扱うことに変更

「株式給付信託 (BBT)」導入企業688社の内、97%の667社が別枠設定。出典：みずほ信託銀行「役員向け信託型株式報酬制度の傾向」

株 主 各 位

(証券コード 6383)
2025年3月12日
(電子提供措置の開始日 2025年3月6日)

DAIFUKU

株式会社ダイフク

大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号

代表取締役社長 下代 博

第109回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第109回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報(電子提供措置事項)について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイト「第109回定時株主総会招集ご通知」および「第109回定時株主総会その他の電子提供措置事項(交付書面省略事項)」として電子提供措置事項を掲載しています。

● 当社ウェブサイト <https://www.daifuku.com/jp/ir/stock/shareholders/>

電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所(東証)のウェブサイトにも掲載していますので、以下の東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)にアクセスして、銘柄名(ダイフク)または証券コード(6383)を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を選択のうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

● 東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



敬 具

記

- | | |
|-------------------------|--|
| ① 日 時 | 2025年3月28日(金曜日) 午前10時(受付開始:午前9時)
開催日が前回定時株主総会日(2024年6月21日)に相当する日と離れているのは、第109期(当事業年度)より当社の事業年度の末日を3月31日から12月31日に変更したためです。 |
| ② 場 所 | 大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号 当社本社内
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。) |
| ③ 株主総会の
目的事項 | 報告事項 1. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 計算書類報告の件
<hr/> 決議事項 第1号議案 取締役11名選任の件
第2号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬制度改定の件 |

なお、当日ご出席されない場合は、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、後述の案内に従って、2025年3月27日(木曜日)午後5時までに議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。なお、当日の様子は、インターネットによるライブ配信でもご覧いただけます(詳細別紙)。

質疑応答

事前質問へのご回答

株 主 各 位

(証券コード 6383)
2025年3月12日
(電子提供措置の開始日 2025年3月6日)

DAIFUKU

株式会社ダイフク

大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号

代表取締役社長 下代 博

第109回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第109回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報(電子提供措置事項)について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイト「第109回定時株主総会招集ご通知」および「第109回定時株主総会その他の電子提供措置事項(交付書面省略事項)」として電子提供措置事項を掲載しています。

● 当社ウェブサイト <https://www.daifuku.com/jp/ir/stock/shareholders/>

電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所(東証)のウェブサイトにも掲載していますので、以下の東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)にアクセスして、銘柄名(ダイフク)または証券コード(6383)を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を選択のうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

● 東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



敬 具

記

- | | |
|-------------------------|--|
| ① 日 時 | 2025年3月28日(金曜日) 午前10時(受付開始:午前9時)
開催日が前回定時株主総会日(2024年6月21日)に相当する日と離れているのは、第109期(当事業年度)より当社の事業年度の末日を3月31日から12月31日に変更したためです。 |
| ② 場 所 | 大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号 当社本社内
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。) |
| ③ 株主総会の
目的事項 | 報告事項 1. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 計算書類報告の件
<hr/> 決議事項 第1号議案 取締役11名選任の件
第2号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬制度改定の件 |

なお、当日ご出席されない場合は、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、後述の案内に従って、2025年3月27日(木曜日)午後5時までに議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。なお、当日の様子は、インターネットによるライブ配信でもご覧いただけます(詳細別紙)。

第1号議案

取締役11名選任の件

第2号議案

取締役に対する業績連動型
株式報酬制度改定の件

株 主 各 位

(証券コード 6383)
2025年3月12日
(電子提供措置の開始日 2025年3月6日)

DAIFUKU

株式会社ダイフク

大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号

代表取締役社長 下代 博

第109回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第109回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報(電子提供措置事項)について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイト「第109回定時株主総会招集ご通知」および「第109回定時株主総会その他の電子提供措置事項(交付書面省略事項)」として電子提供措置事項を掲載しています。

● 当社ウェブサイト <https://www.daifuku.com/jp/ir/stock/shareholders/>

電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所(東証)のウェブサイトにも掲載していますので、以下の東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)にアクセスして、銘柄名(ダイフク)または証券コード(6383)を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を選択のうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

● 東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



敬 具

記

- | | |
|-------------------------|--|
| ① 日 時 | 2025年3月28日(金曜日) 午前10時(受付開始:午前9時)
開催日が前回定時株主総会日(2024年6月21日)に相当する日と離れているのは、第109期(当事業年度)より当社の事業年度の末日を3月31日から12月31日に変更したためです。 |
| ② 場 所 | 大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号 当社本社内
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。) |
| ③ 株主総会の
目的事項 | 報告事項 1. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第109期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 計算書類報告の件
<hr/> 決議事項 第1号議案 取締役11名選任の件
第2号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬制度改定の件 |

なお、当日ご出席されない場合は、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、後述の案内に従って、2025年3月27日(木曜日)午後5時までに議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。なお、当日の様子は、インターネットによるライブ配信でもご覧いただけます(詳細別紙)。

新任取締役

日比 徹也



新任取締役

吉田 晴行



新任取締役

神崎 夕紀





Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。